

戸 塚 ・ 大 久 保 地 区 中 学 校	平成15年9月9日
適 正 配 置 協 議 会 だ よ り	NO.3

去る8月21日東戸山中学校で第3回の協議会が開催されました。はじめに事務局から通学区域の見直しが困難な理由の説明がありました。その結果通学区域の見直しについては、将来的には見直す機会もあるかもしれないが、今回は行わないということで、事務局の提示した2つの組合せ案について協議が始まりました。

しかし、小学校PTAの方から4校を1校に統合するという新たな提案があり、賛同される方も多かったことから、組合せについての協議は再び次回に持ち越しとなりました。

次回は9月19日に開催の予定です。

協 議 事 項	主 内 容	
統合新校の位置	事務局のA案の組合せになるなら、戸山1～3丁目は大久保中まで遠く、2つの大通りを渡ることになるので、東戸山中学校を新校校地にしてほしい、との意見があった。	
統 合 の 組 合 せ	今回、通学区域の見直しが困難な理由 (事務局説明)	・通学区域は歴史的な経緯で決められてきたもの。昭和52年に見直した際は住民代表や区議会議員などをはじめ、区民部も含めた大きな体制で3年間かかっている。今回もその時のようにかなりの時間がかかってしまう恐れがある。 ・学校選択制によって通学区域にかかる問題は現実的に解消されていくと考えられる。 ・東戸山中を分断することになれば、同校の生徒が激減する恐れがある。 ・見直しによって2つの新校の生徒数に大きな不均衡を生じる恐れがある。
	【4校を1校案】 (D案)	4校を1校に統合する。 【D案の主張】 ・今2つの新校を造っても、また小規模化する恐れがあり、はじめからひとつの大きな学校にした方がいいのではないかと。2校分のお金を使って大規模な複合施設を造り、地域住民も使えるようにすれば、地域密着型の学校になる。また通学区域の不合理的も関係なくなる。 【D案への反対意見】 ・学校現場としては2校の統合でも大変なのに、4校の統合となると、どういうことになるか想像もできない。仮校舎や事前の準備など、いろいろな問題が出てきて、とても17年度実施は無理だろう。
調 整 区 域	・事務局案の組合せになった場合、戸山1～3丁目の生徒が戸塚一中にできる新校を希望すれば、必ずその学校に行けるようにしてほしい。	
	・事務局としては、100%の保証はできないが、ほとんどが希望の学校に行けると見込んでいる。また学校選択制の導入に併せて調整区域を廃止しており、それと相容れない話になる。これも持ち帰って次回またお話ししたい。	
【事務局】 教育環境整備課 TEL (3341) 4358 FAX (3341) 9955 E-mail kyoikukankyo01@city.shinjuku.tokyo.jp		